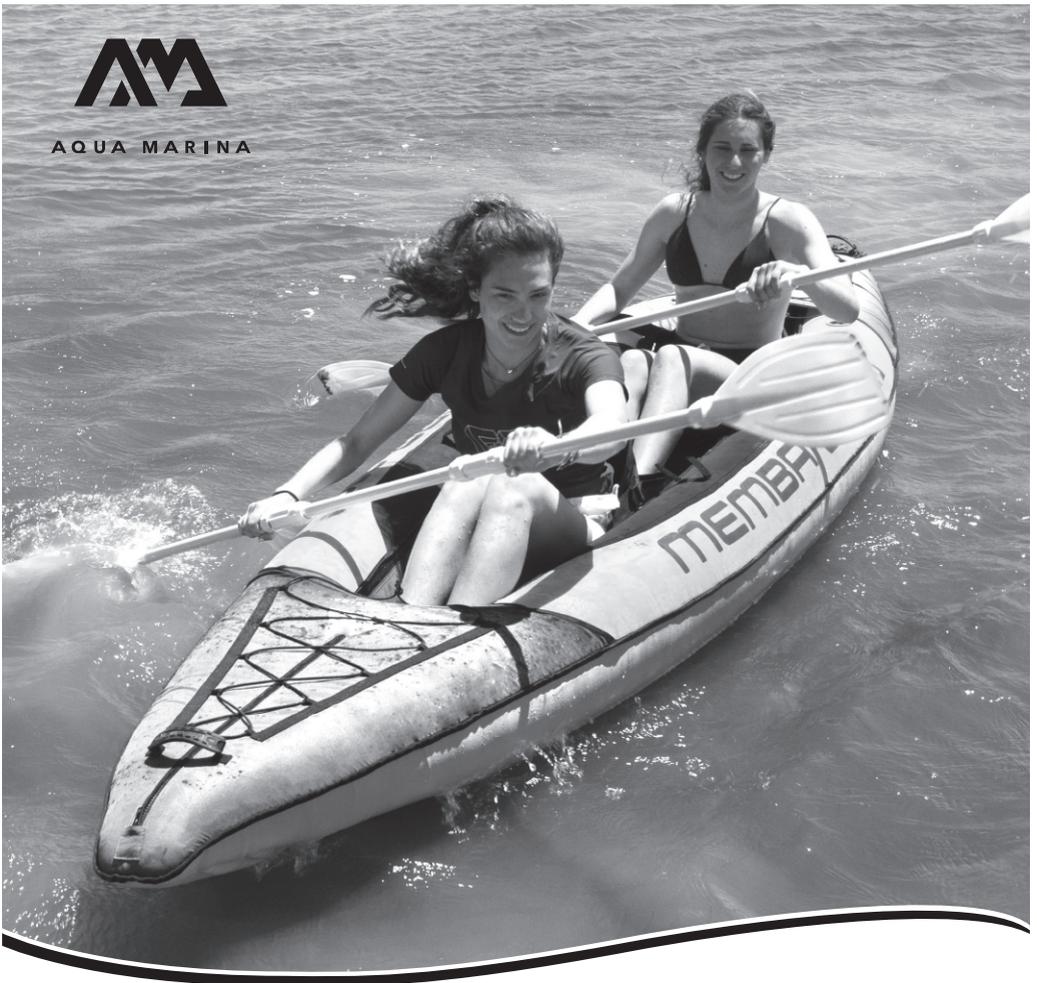




AQUA MARINA



# LAXO / MEMBA

INFLATABLE HEAVY-DUTY KAYAK

User's Guide

## WARNING

ご使用前にこちらの取扱説明書の内容をよくお読みの上、正しくお使い下さい。  
正しい取扱いをしなかった場合、けがや事故、  
最悪の場合死に至る危険がありますのでご注意ください。



[aquamarina.com](http://aquamarina.com)

# 製品の使用について

## 安全に使用するために

パドルスポーツは体力が必要で、非常に危険が伴います。正しく使用されないと、ケガや死亡事故に繋がる場合があるので注意して下さい。

本製品をご使用の際は、必ず本書をお読みいただきご理解の上で使用ください。

また、お読みいただいた後もこの説明書は大切に保管してください。

下記の欄にカヤックの船体に印刷されている「船体識別番号」(HIN)を記録してください。

## 製造業者証明

アクアマリーナのSUP/カヤック製品は国際標準化機構によって定められたISO 6185規格に準拠しています。

## 安全のためのチェックリストと警告

- 本製品を貸し出す場合、使用するユーザーが安全に使用できるように所有者が責任を持ち指導を行ってください。
- 商品を手放すまでこの取扱説明書は必ず保管してください。
- インフレーターブルカヤックについて知識のない方(初心者)は専門店や上級者からの指導を受けてください。
- この取扱説明書と製品に記載してあるスペックを参考に正しく使用してください。定員オーバーでの使用は大きな危険が伴います。
- カヤックに乗り込む際にはフロアの中心に足を置き乗り込んでください。端に足を置いて乗り込むとバランスを保てず落水する危険性があります。
- ご使用の際には必ずライフジャケットなどの救命胴衣を着用してください。
- 必要があればヘルメット・ヘッドギアなどのプロテクターを装着してください。
- 強風・大雨・急流または、危険な潮汐の中では使用しないでください。
- 雨などによる洪水・川が氾濫しているときは使用しないでください。
- アルコールや薬を服用しているときは使用しないでください。
- 適正空気圧は必ず守ってください。
- 決して無理はせず、個人の体力・能力に合った使用方法を心がけてください。
- 救助の場合を除き、ボートや車でけん引しないでください。
- 地域の条例や船舶法など、法律を守って使用してください。
- 救命用の船としては使用できません。
- お子様が使用される場合は必ず保護者が監督し、目を離さないでください。
- 製品はできるだけ砂や岩場の上に置かないようにしてください。

- コンプレッサーや高圧の電動ポンプを使用すると空気圧が入りすぎることもあるので使用せず、アクアマリーナが推奨するポンプを使用してください。
- 流される危険があるため、水上に製品を置きその上で寝ないでください。
- 携帯電話などの連絡手段を防水バッグに入れ、必ず持ち歩いてください。
- 最大荷重を超えての使用は絶対にやめてください。
- 潮の流れ・天気・風の状態を事前に調べ安全を確認した上でご使用ください。

## メーカーからの勧告

定員数と体重制限を必ず守ってください。

製品の仕様はカヤックの船体ラベルに記載があります。

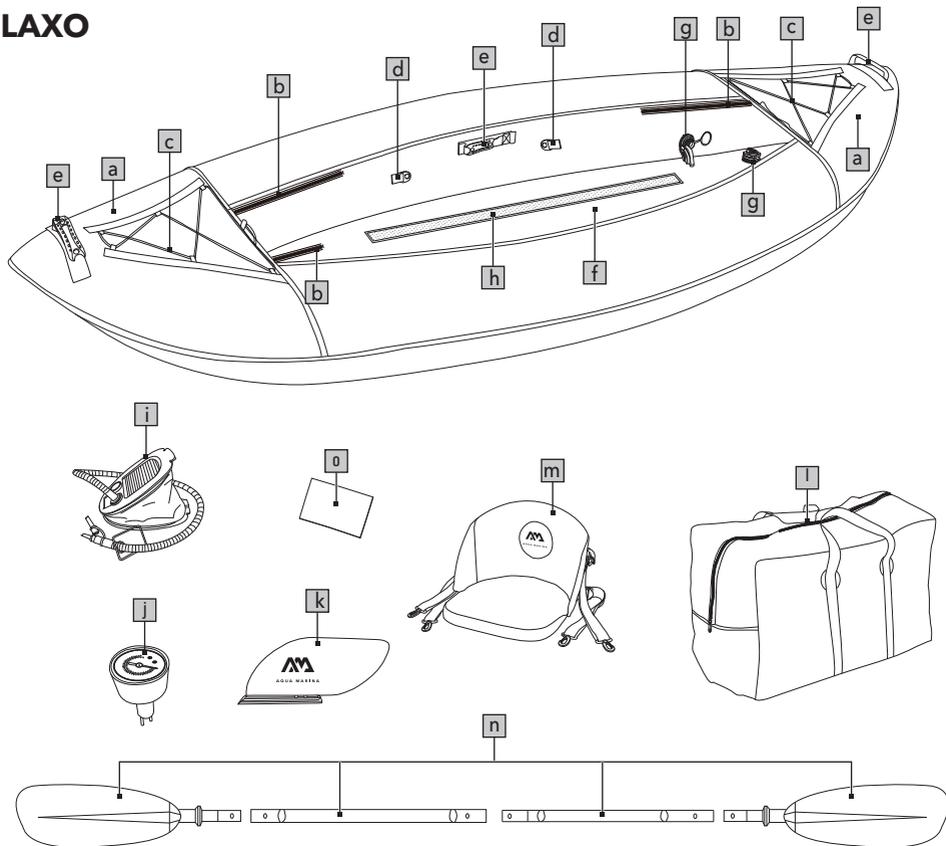
## KAYAK/CANOE ラベルの記載事項

1. 国際標準化機構(規格) : EN ISO 6185 PART 1 TYPE III
2. 製造国
3. 最大定員数
4. メーカー推奨 最大積載重量
5. メーカー推奨 空気圧
6. 船体識別番号(HIN)
7. 製造メーカー情報

1	3
EN ISO 6185 PART1 TYPE III	STANDARD EN ISO 6185-1:2018
LA-380	BOAT TYPE TYPE III (B)
Do not over inflate or use high pressure air compressor to inflate. Inflate the chambers in numbered sequence. Use the enclosed barometer to check while inflating. Ensure even distribution of persons or loads in the KAYAK.	DESIGN CATEGORY /
<b>WARNING:</b> This is not a life saving device. Use only under competent supervision. Always use an approved life preserver. Do not use in high wind, rapid currents, open water or dangerous tides. Be familiar with area where you intended to use KAYAK. Never allow diving into this product. Never leave in or near the water when not in use. Follow these rules to avoid drowning, paralysis or other serious injury: - Not for use by children without adult supervision. - Do not overload. - Know and follow local water safety rules and regulations.	BOAT MODEL LA-380
MADE IN CHINA	 = 2  = 1
DATE	 +  = 210KG (462lbs)
	 = 0.07bar / 1psi
	<b>CN-ORP.</b>
	ORIENTAL RECREATIONAL PRODUCTS (SHANGHAI) CO.,LTD NO. 1699 DAYE ROAD, WUQIAO, FENGXIAN, SHANGHAI, 201402, CHINA
2	7      6      5      4

# パーツ名称

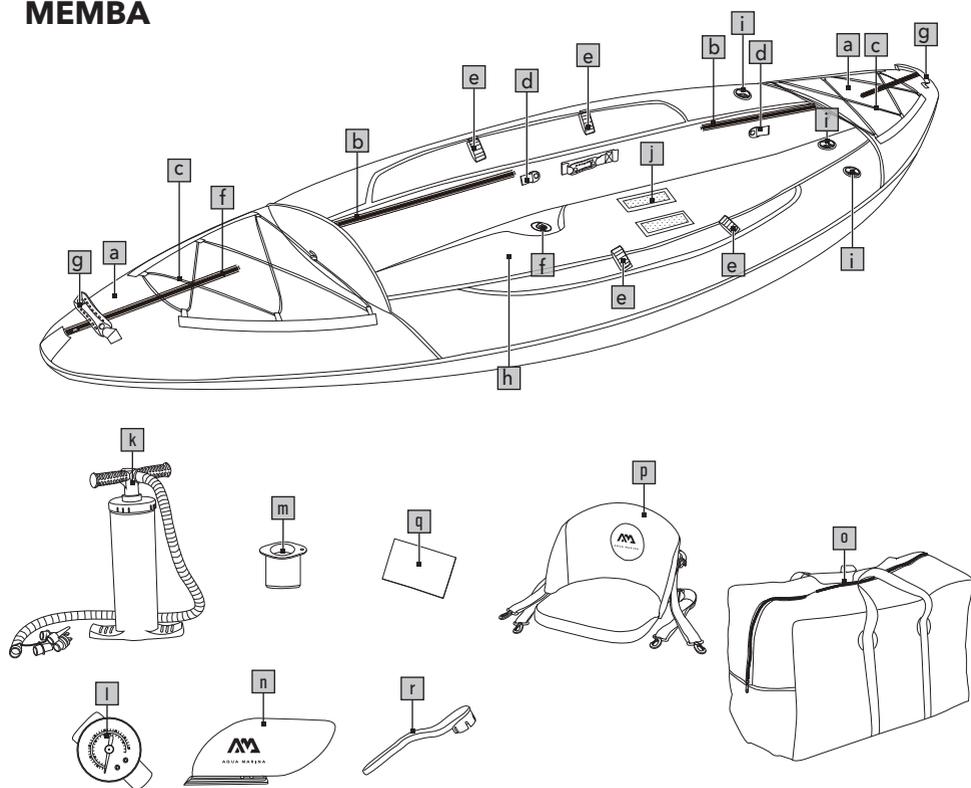
## LAXO



a	スプラッシュガード	j	プレッシャーゲージ
b	ジッパー付きフルカバー	k	カヤックフィン x 2
c	バンジーコード	l	キャリーバッグ
d	シート取り付け用 Dリング	m	ハイバックシート (LA-285 x 1, LA-320/LA-380 x 2)
e	ラバーハンドル	n	カヤックパドル (LA-285 x 1, LA-320/LA-380 x 2)
f	i-beam フロア	o	リペアキット
g	ポストンバルブ		
h	シート固定用ベルクロ		
i	11"フットポンプ		

# パーツ名称

## MEMBA



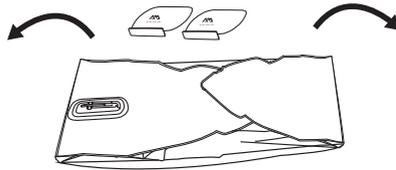
a	スプラッシュガード	j	シート固定用ベルクロ
b	ジッパー付きフルカバー	k	16" ハンドポンプ
c	バンジーコード	l	プレッシャーゲージ
d	シート取り付け用Dリング	m	バルブアダプター
e	パドル固定用ベルクロ	n	スカヤックフィン x 2
f	ドレインバルブ	o	キャリーバッグ
g	ラバーハンドル	p	ハイバックシート (ME-330 x 1, ME-390 x 2)
h	7cm ドロップステッチフロア	q	リペアキット
i	高気圧バルブ	r	レンチ

# 仕様

モデル	長さ	幅	最大定員数	最大積載重量	本体重量	空気室	最大空気圧
<b>LAXO LA-285</b>	285 cm (9'4")	95cm (37")	1	95 kg (209 lbs)	12 kg 26.5 lbs	2+1	1psi (0.07bar)
<b>LAXO LA-320</b>	320 cm (10'6")	95cm (37")	2	155 kg (341 lbs)	15 kg 33.1 lbs	2+1	1psi (0.07bar)
<b>LAXO LA-380</b>	380 cm (12'6")	95cm (37")	2+1	210 kg (462 lbs)	17.5 kg 38.6 lbs	2+1	1psi (0.07bar)
<b>MEMBA ME-330</b>	330 cm (10'10")	90cm (35")	1	95 kg (209 lbs)	12.5 kg 27.6 lbs	2+1	Refer to inflation guide (P7)
<b>MEMBA ME-390</b>	390 cm (12'10")	90cm (35")	2	155 kg (341 lbs)	16 kg 35.3 lbs	2+1	

# 組み立てと収納方法

A



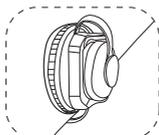
ゴミや突起物の無い場所にカヤックを広げ、付属のセンターフィンを取り付けしてください。

フラットウォーターで使用する場合はカヤックフィンを取り付ける必要があります。

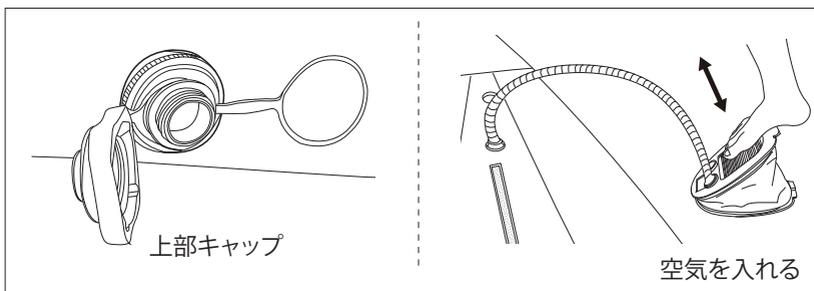
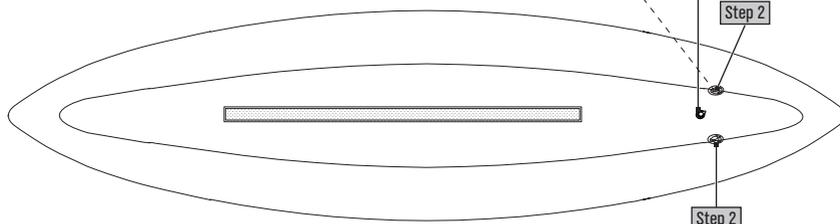
ホワイトウォーターで使用する場合は、カヤックフィンを取り付けしないでください。

B

# LAXO



ポストバルブ



上部キャップ

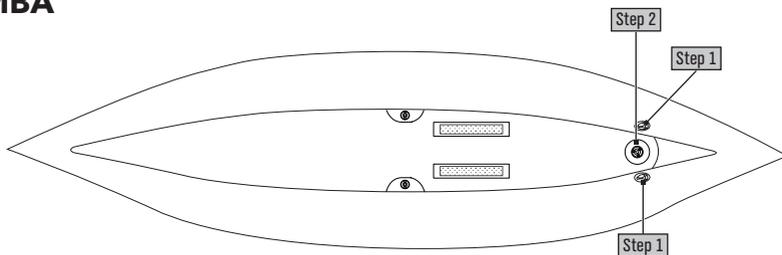
空気を入れる

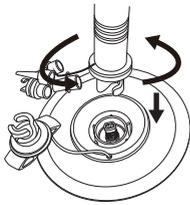


注意:

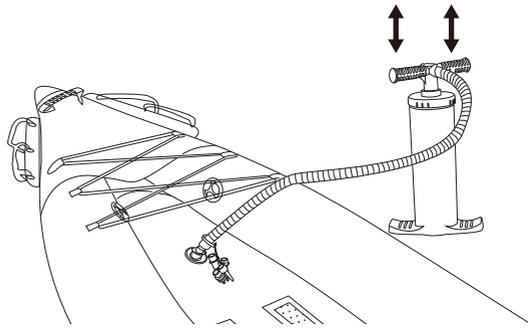
空気を抜くときだけ外してください。

# MEMBA





高気圧バルブ



## 空気の入れ方

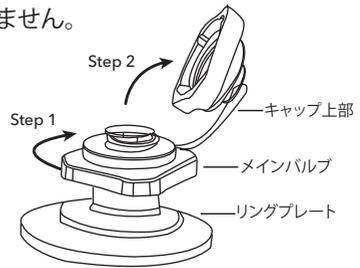
上記の図を参考にSTEP1→2の順番通りに空気を入れてください。

1. 圧力計とポンプホースをポンプ本体に取り付け、しっかりと固定します。
2. **ポストバルブ (LAXO)**

メインバルブがリングプレートにしっかりと取り付けられていることを確認してください。キャップ上部を開いた状態でも空気は逆流しません。

### 高気圧バルブ

バルブキャップを外し、バルブが「ピンアウト」の位置にあることを確認し、ボタンを押し込んで時計回りに回し、バルブが「ピンアウト」位置にあることを確認します。



ポストバルブ

3. 空気入れのホースを接続し、最適な空気圧になるまで空気を送り込みます。

空気を入れたら各バルブのキャップをしっかりと締めてください。

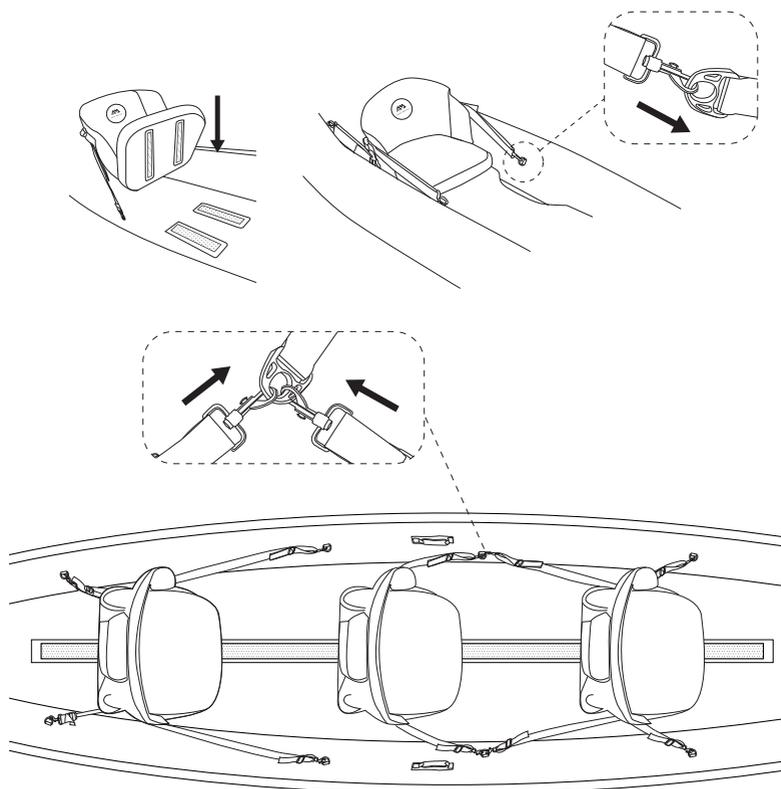
**ヒント:** ハンドポンプのシャフトが軋む場合は、シャフト部分にグリス等を塗ってください。

**ヒント:** 各空気室・製品の最大空気圧を超える空気は絶対に入れないでください。

	SIDE CHAMBERS	FLOOR
LAXO	1 psi / 0.07 bar	1 psi / 0.07 bar
MEMBA	1 psi / 0.07 bar	4.35 psi / 0.3 bar

**注意:** 繰り返し使用するとバルブが緩んでくることがあります。

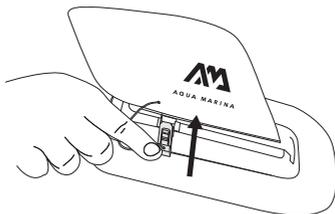
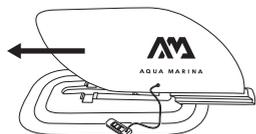
使用の前にはバルブをしっかりと締め直した後、空気を入れてください。



## シートの取り付け

1. カヤック/カヌーのフロアに設置されたベルクロにシートを取り付けます。水上でボートのバランスを安定させるため、適切な場所にシートを取り付けましょう。単独で乗る場合、ボートの中心から少し後方にシートを設置しましょう。2人で乗る場合、体重が重い方が後方に座りましょう。
2. シートの位置が決まったら、シートに付属するストラップを使用して本体のDリングに接続します。上部ストラップは各シートの前方のDリングに取り付けてください。

**注意:** LA-380 i2~3人のユーザー向けに設計されており、標準パッケージにはシート2つがセットになっています。シートは単品で別途購入できます。シートの位置は、ストラップを別のDリングに接続することで簡単に調整できます。必要に応じてストラップを同じDリングに接続してください。3人で使用する場合は、上記のシートレイアウトを参照してください。

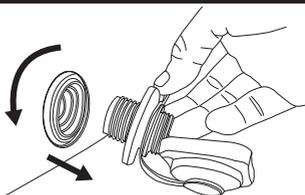
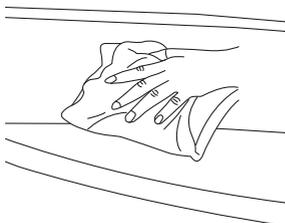
**D**

### カヤックフィンの取り付け

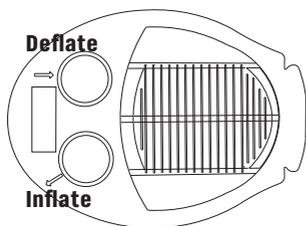
カヤック/カヌーを裏返し、カヤックフィンをベースにスライドさせます。  
 付属のピンを横から、カチッと音がするまでスライドさせます。

**E**

### LAXO

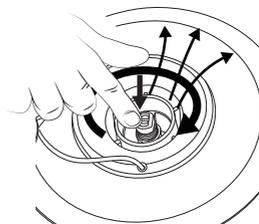
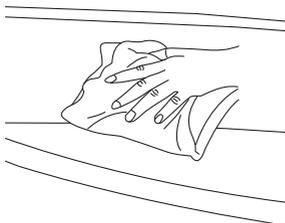


ポストバルブ

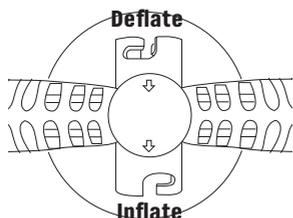


11" フットポンプ

### MEMBA



高気圧バルブ



16" ハンドポンプ

## 空気の抜き方

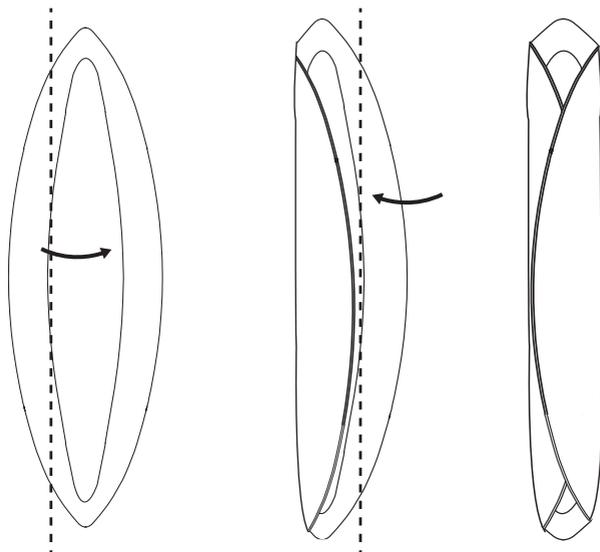
1. バルブ周辺の水分、ゴミを取り除きます。
2. **ポストンバルブ (FOR LAXO)**

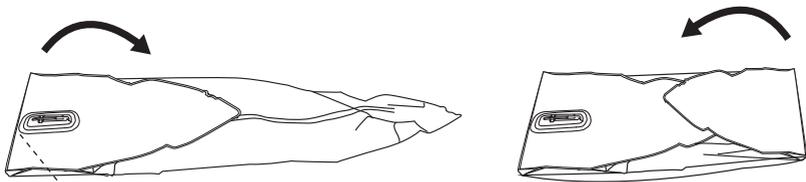
空気を排出するためにポストンバルブの下部キャップを開きます。この状況では自動的に空気が排出されていきます。

### 高気圧バルブ

バルブキャップを外し、ピンをゆっくりと押し下げます。

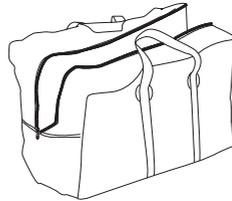
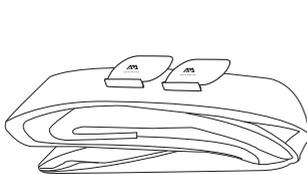
はじめは空気が勢いよく出てきますが、しばらくすると緩やかな排出に変わります。数秒したら、ピンを完全に押し下げ、時計回りに回して「**OPEN**」位置にロックします。





**注意:**

フィンボックスが折れ曲がらないように注意してください。



## 折り畳み方

1. ある程度空気が抜けたら、シートやフィンなどの付属品をすべて外します。
2. サイドチューブを図の通り3つ折りにします。  
次に、バウ側を中央まで折り、残っている空気を押し出します。  
船尾側も同様に中央側に折り込み、船尾の上にバウの先端が来るようにします。
3. その状態になればバッグに収めることができます。

## 手入れと保管について

F

本製品はISO 6185規格に準拠した高い品質を持っていますので、

正しく管理をすれば数年間は品質を保つことが出来ます。

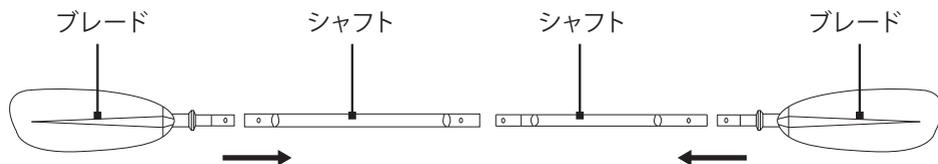
正しく管理をしないと安全性を著しく低下させ同乗者を危険にさらすことになります。

また、一切の保証が無効となります。

- 砂・海水・日光による損傷を防ぐため、使用のあとは必ず陸上で洗ってください。
- ほとんどの汚れは真水・柔らかいスポンジ・中性洗剤で取り除くことが出来ます。保管する前に本製品が完全に乾いていることを確認してください。できるだけ洗剤は使用せず、廃水は海や川に流さないでください。
- 空気を入れたまま保管することも可能ですが、本製品の上に物を置かないでください。吊り下げでの保管はなるべく控えてください。
- 付属品を外した後、全てのバルブを開け空気を排出させてください。
- 湿気の無い、風通しのよい場所に保管をしてください。
- 害虫被害に合わないようバッグに入れるなどの対策を取ってください。
- 保管する際の室温は0～40℃の間で維持してください。

## パドルの組み立て

G



**カヤックパドル (\*MEMBAはオプションとして別途購入する必要があります)**

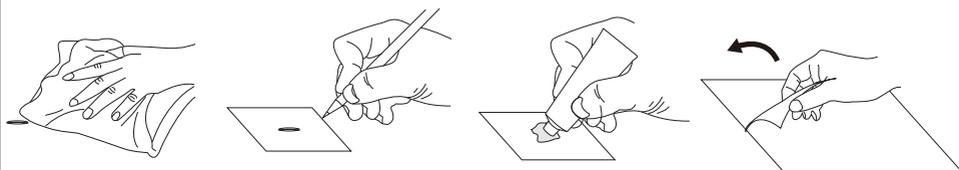
1. マイクロロックを解除して、ブレードをシャフトに挿入します。  
奥まで差し込んだら、マイクロロックをシャフトの穴に固定します。
2. シャフト同士も同じように奥まで差し込み、マイクロロックで固定します。
3. 分解する際には上記の手順を逆に行います。

**ヒント:** 持ち運びに不便が無ければ毎回ブレードをシャフトから外す必要はありません。

**注意:** 使用後は必ずシャフト内に残っている水を排出してください。

## 生地からの空気漏れと補修

G



空気漏れの場合は一番にバルブ周辺を確認してください。

バルブの緩みが原因の場合しっかりと締め直すことで解決します。

バルブを締め直しても空気漏れが解決しない場合は本体からが空気漏れている可能性があります。

空気漏れの箇所はせっけん水をかけ、気泡が発生する事で発見できます。

1. 生地からの空気漏れが発覚した場合は、付属の補修生地と別売りの接着剤で修理が可能です。3mm以下の穴空きであれば補修生地無しで簡単に修理ができます。船体の空気を抜いてから修理箇所を綺麗にして乾かします。穴に少量の接着剤を塗布し、12時間乾燥させます。
2. 3mm以上のキズには補修生地を使用します。補修生地をキズよりも一回り大きく（1.5cm以上）カットし、角が無いよう端を丸く切り取ります。
3. カットした補修生地と、船体のキズの周りに接着剤を薄く、覆うように塗布します。
4. そのまま2～4分間、接着剤を乾かしたら、生地の端から端に圧力をかけて接着していきます。生地の端は剥がれやすいため、強くこすって力をかけておきます。12時間放置し、膨らませた時に空気漏れがないことを確認してください。

## 製品保証

本製品は購入日から1年間、製品の不良や欠陥を保証します。  
この保証には次の制限が適用されます。

1. 製品保証は個人的かつ非営利目的に使用する場合のみ保証の対象となります。レンタルや学校行事、営利目的での使用は対象外となりますのでご注意ください。
2. 製品保証の決定には、欠陥を明確にするための検査や画像の提供をする必要があります。状況によっては送料をお客様のご負担で販売店へ商品を送らなければいけない場合もあります。また、返品や交換は販売店の許可を得てから発送しなければいけません。発送の際には返品許可番号を表記する等の手順が必要になる為、販売店の指示に従ってください。
3. 商品不良が認められた場合、不良品の交換または修理のみが保証の対象となります。また、本製品の誤った使用方法や紛失によって生じた費用、損失、損害については一切責任を負いません。
4. この製品保証は、誤用、乱用、放置、使用における摩耗、裂傷による破損は適用されません。またこれに限らず、過熱による破損、不適切な取扱いや保管による破損、岸辺での使用による破損、波乗りでのボードの破損など、素材および製造上の欠陥以外の破損はすべて適応外となります。
5. この製品にはアクアマリーナのブルードライブパワーフィン以外のモーターを使用しないでください。
6. 推奨する最大積載量を超えて使用した場合は保証の対象外となります。
7. 製品保証は許可なく修理、交換、改造を行った場合は無効となります。
8. 修理、交換された製品も初めの購入日から1年の補償となります。
9. 保証を受ける際には領収書や納品書等の購入したことを証明できる書類を提出する必要があります。購入した販売店の名前、日付が明確にわかるものを保管しておいてください。
10. ここに記載されている以上の保証はありません。



注意

この製品は、特定の用途に使用される目的で設計されています。  
製造業者によって示された以上の改造や変更はユーザーの重大な危険につながり、製品保証は無効となります。